

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて 開催気運を醸成し、都市の祝祭性を創出する新事業を開始 アーツカウンシル東京 平成 28 年度 ラインアップ発表

アーツカウンシル東京では、リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック閉会後の今秋から 4 年間にわたって開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを見据えて事業を拡充し、東京の魅力を高めるとともに、多くの方が参加でき楽しむことのできる多様な事業を展開していきます。

■文化プログラムの展開に向けて、助成プログラムを拡充

アーツカウンシル東京では、東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体をはじめ、地域の芸術活動や様々な人々が芸術に触れることができるプロジェクトに対する助成を実施しています。平成 28 年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催気運を高め、インパクトある芸術文化活動を支援する「文化プログラム助成(仮称)」を新たに開始します。

■東京 2020 大会を見据えた文化事業をリオデジャネイロで実施し、国内へ展開

世界中の注目が集まるリオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地において文化事業を実施し、その後の国内における文化プログラム展開に繋げていきます。

■ジャンルを横断する都市型総合芸術祭を構築

伝統芸能、舞台芸術、音楽、現代アートなど、東京の多様で奥深い芸術文化を顕現した都市型総合芸術祭の展開に向けて、先端的な舞台芸術作品を紹介してきた「フェスティバル/トーキョー」を軸に、舞台芸術に関する事業を再構築します。

■伝統文化・芸能の魅力を発信し、馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催

東京ならではの独自性や多様性を追求しながら、伝統文化の魅力を国内外に発信し、多くの人々が気軽に伝統文化を体験できるフェスティバルを、江戸の文化の発信地である日本橋エリアで開催します。また、八王子エリアでは、多摩地域の文化資源を活用したフェスティバルを開催します。

■地域の文化創造拠点を生み出す「東京アートポイント計画」の公募プロジェクトを開始

地域社会を担う NPO とアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント(文化創造発信拠点)」を生み出す「東京アートポイント計画」を、継続実施する 11 のプロジェクトに加え、公募によって新たな NPO を選出し、アートプロジェクトを展開していきます。

■人材育成事業の充実

アーツカウンシル東京では、芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成しています。東京の芸術文化事業を担う人材を育成していく「アーツアカデミー」では、伝統芸能とクリエイティブ分野を扱うコースを新設します。また、「Tokyo Art Research Lab (TARL)」では、アートプロジェクトを動かす人材を育成していく「思考と技術と対話の学校」において、「思考編」「技術編」に続き、チームでプロジェクトを実施するための対話力を磨く「対話編」を新たに開校します。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに向けて、先導的役割を担うプロジェクトを展開しています。

<http://www.artscouncil-tokyo.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：森(隆)、浅野
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp